

泉陽会会報第30号発刊に寄せて

桂島会長にインタビュー



第30号

発行 宮城県泉高等学校泉陽会
泉区将監十丁目三九番一号
電話〇三二〇三七二四一一
印刷 モリタ印刷株式会社
太白区郡山八丁目二〇番二〇号

「この泉高校の同窓会報「泉陽会会報」が、今年でちょうど三十号を迎えました。桂島会長は本校同窓会の初代会長にして現会長ということで、同窓会の歩みを一貫して作られてきた方であるわけですが、この間の歩みをどのようにお感じになっていますか。

同窓会長を務めて早いもので三十九年となりました。毎年八月第二土曜日に開催している総会については、一年たりとも途切れることなく継続して実施してまいりました。参加者を如何に増やすかというところで、役員協力を得ながら奔走してきましたように思います。また、この間創立五、十、十五、二十、三十周年記念事業にも関わってきましたが、その節目節目に式典等が開催され、すばらしい事業（同窓会館建設、弓道場修理等）が実施されてきております。天をまつすぐ突くように伸びている竹は、節があるから折れにくいと言われます。そういう意味では、節目

節目に、しっかりと取り組みを行い、在校生の心構えをつくってきている泉高校は、竹のようにしなやかで強い、泉区を中心となる伝統校になつてきているように思います。

―会長の息子さん一人も最近相次いで泉高校に入學されましたね（一人は一昨年卒業、もう一人は現在二年生）。親子二代での泉高校ですが、かつてと比べて最近の泉高校の様子をどのようにお感じになりますか。

息子達を見ていて思うのは、泉高は学校のあるべき姿「虚往実帰（きよおうじつき）」の状況であるように思います（同窓会館二階会議室に掲げてある鈴嶋清美元県教育長書）。部活動も含め学校生活が実に楽しくあり、師である先生方、先輩方から無形の感化や徳化を受けているように感じています。今も昔も、一人一人が大切にされ、個に応じた指導がなされているように思っています。欲を言えば、もっともつと鍛えてほしいという思いもあります。

教育の最終目標は自立であります。少子化により、どうしても周囲が手を貸してあげることが多いように思います。自立ということを根幹に据えて、学校も家庭も協力し育んでいけば、よりたくましい泉高生になるように思います。

―泉高校も今年四十二年目。一回生の皆さんは五十七歳を迎えられるでしょう。それぞれ職場において、中核の存在として活躍されているものと思います。桂島会長もこのたび宮城県教育庁義務教育課の課長さんになりました。重責を担っておられますが、仕事の方はいかがですか。

縁があつて、私と同じフロアには、宮城県教育庁高校教育課に山内明樹課長さん（泉高四回生）がおられます。また、仙台市教育局高校教育課には千葉剛課長さん（泉高一回生）がおられます。さらに、宮城県体育協会に佐々木信一事務局長さん（泉高六回生）がおられます。本県及び仙台市の教育充実のために、協力しながら仕事を進めている

ところです。同窓生という絆のようなものを感じ、何でも相談できる関係であるように思っています。

我々三人（山内課長、千葉課長）とも教員であり、教員になつたきつかけも高教時代の恩師の影響力（教育にける情熱）があつたように思います。恩師に負けないよう、一意専心、今ある職務に取り組んでまいりたいと思います。

―最後に、同窓会長として、これからの同窓会の活動に対する思いをお聞かせください。

―最後に、同窓会長として、これからの同窓会の活動に対する思いをお聞かせください。泉高の先生方は、必然的に転任があり、勤務しても数年が限度であります。そうすると、どうしても、目の前の課題にとらわれ、学校を「点」としてしかとらえられないように思います。学校の歴史をよく知り、学校を「線」としてとらえているのは、同窓生を含め地元の間であるように思います。そういう意味では、同窓生として、長い学校の変遷・歴史等を踏まえ、泉高の先生方や在校生に、時にはアドバイスを送ることも必要であると考えております。「継続は力なり（初代校長佐藤典古氏の訓示）」の言葉を基に、総会を一年たりとも欠けることなく毎年開催し、また、同窓会の活動を理解してもらつたためにも、会報の発行を地道に続けてまいりたいと思つて

役員会にて（7月5日、泉陽会館） 右：左から3人目が桂島会長、右端が板垣校長
左：今年の担当幹事のうち、38回生諸君



「歴史と伝統を踏まえ更なる飛躍を」 校長板垣徳昭

今年、四月の人事異動で、亘理高等学校から赴任してまいりました。同窓生の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

初めて本校に赴任したとき、まず校庭の広さに驚き、さらに校庭を取り囲む樹木、そして校舎周辺の植栽の緑の多さに感心しました。このような恵まれた学習環境は、初代校長佐藤典古先生による「緑の学園づくり」に始まり、脈々と受け継がれていることをあとで知りました。

今年度、高校入試でまれにみる高倍率のなか、本校に合格した普通科六クラス、英語科一クラスの一年生を迎えて、全校生徒八四〇名でスタートしました。

これまで、生徒は文武に渡って頑張り、明るく楽しい学園生活を送っているようです。まず、第二十九回泉三校定期戦では、総合優勝に輝き、四連覇を達成しました。

高校総体でも頑張つてくれました。特に男子ソフトテニス、女子卓球が準々決勝まで進みベスト八、陸上競技個人で二名が東北大会に進みそのうち一名が全国大会への出場を決め、文化部でも放送部がNHK杯放送コンテストで五人と一作品が全国大会の出場を決めています。

このように運動部・文化部の部活動も活発に行われております。さらに近年生

※二面に続く



※一面より続く

徒の進路実績も確実に伸び、地域や中学校の評価も高まっています。

現在NHKの朝の連続ドラマ「花子とアン」が評判ですが、そのモデルになった村岡花子が東洋英和女学校の高専科を卒業したとき、その時のブラックモア校長の極めて示唆的で印象に残る式辞が伝わっています。「今から何十年後に、あなた方が学校生活を思い出して、あの時代が一番幸せだったと感じるなら、私はこの学校の教育が失敗だったと言わなければなりません。若い時代は準備の時であり、最上のは過去にあるのではなく、将来にあります。旅路の最後まで希望と理想を持ち続けて、進んでいく者でありますように」

生徒には、夢と希望を失わず、社会で大いに活躍してほしいと思います。そのため基礎となる、社会で「生き抜く力」を本校でじっくり養ってほしいと思っています。

同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会の今後のますますのご発展を祈念申し上げます。

泉高近況・同窓生動向

NEWS NEWS

泉高生から「漫画家」誕生！

泉高校三十四回生の阿部保です。私は現在、宮城県立山元支援学校で教員をしています。

私の泉高三年の時の同級生、伊藤素晴さんが最近漫画家（伊東素晴）としてデビューしたことを知りまして。そこで、今回いろいろとお話をうかがってみました。

●阿部 平成二十一年三月、一緒に泉高を卒業してから現在まで、どうしていつたのか教えてください。



☆伊藤 東北芸術工科大学のグラフィックデザイン学科に入学し、デザインでの勉強をしています。

た。大学では専門的な技術を得られたのはもちろんですが、同期たちと切磋琢磨し合えたことが私にとって大きかったと思います。四年生の時に公募に作品を応募して受賞したことをきっかけに、本を出す運びとなり現在に至ります。

●本格的に漫画家になろうと思ったのはいつですか？それはどんな理由ですか？

☆私は小学生の頃、大人からすれば「そんな事ばかり考えてないで勉強しろ！」と言うようなこと（なぜ人は生きなければいけないのかとか、なぜ勉強しなければならないのかとか）を考えると、好きな子どもでも、そんなこと親や友達に話せば心配されてしまう

ので誰にも話せず…。そこで、せっかく出た結論を発表する自己満足の場としてノートに漫画を描いたのが始まりだったと思います。漫画という方法をとったのは、絵を描くのがもともと好きだったからです。

●漫画を書いていて、うや大変なこととは何ですか？



☆好きなことをしているので、一日中仕事をしていても苦痛じゃないところです。その状態が何週間も続くとさすがに大変だなあとはいます（笑）

●漫画のテーマはどうやって考えたんですか？

☆今回の本のジャンルである「コミックエッセイ」と

●これから、どんな本を書きたいですか？次回作はもう決まっていますか？

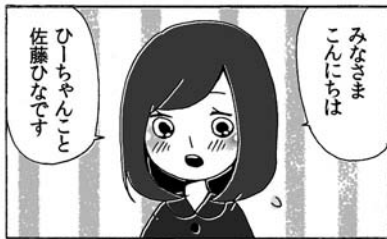
☆私自身も悩みながら生きていた時期である思春期の中高生たちに、読んで共感して好きになってもらえるような本を描くことが、私の夢です。もうすぐ九月の下旬にKADOKAWAメディアファクトリーから、主人公の高校生時代が収録された『今日もかくる絶望しています。2』が発売になります。どうぞよろしくお願います！

自分自身の体験や気持ちをもとに表現することで、多くの方が共感する作品が生まれたいですね。次回作は、高校時代のことが出てくるというところで、さらに楽しみです。

素晴さん、ありがとうございました。みなんで応援しましょう。なお、この頁に掲載した四コマ漫画は、まだ発売前の新しい本に掲載される作品を素晴さんから特別に提供してもらったものです。

(阿部 保)

自己紹介



9月5日発売「今日もかくる絶望しています。2 (KADOKAWAメディアファクトリー)」収録

いま放送部がすごい！ 全国大会に五人十一作品が出場

三十八回生の長嶺優美です。このところ泉高校の放送部がめざましい活躍を見せています。その活躍の裏側には何があるのか秘密を探るべく、七月五日学校に取材に行ってみました。放送室で取材に応じてくださいました。顧問の公平優子先生（写真左端、実は以前アナウンサーだった経歴をお持ちです）、今年の全国大会出場を決めた三年生四人の皆さん（写真右端から亀井安津海さん、木皿りなさん、石川未来さん、米本眞弥さん）です。

●長嶺 今年の県大会の成績を教えてください。
 ☆公平先生 朗読部門とアナウンス部門の上位六名ずつが全国大会に進むのですが、その中に泉高校から全部で五名が入りました。これは県内の高校の中でダンツ一番の成績です。また、ラジオドキュメント部門でも泉高校制作の一作が全国大会に進みます。

放送部メンバーの集まり

●最近の放送部はめざましい活躍が続いています。その秘訣は何なのでしょう？
 ☆亀井 部員数が増えたことで、部員が練習の時にお互いに読みを聞きあう機会が増えたことだと思います。
 ☆石川 高いレベルの先輩を目標として、頑張るのが当たり前という雰囲気作りができています。
 ☆木皿 先輩から後輩への丁寧な指導に多くの時間を当てられていること、滑舌練習や発声練習に加えて、私は腹筋やランニングをすることで肺活量を鍛えました。
 ☆石川 私もスポーツテストでは他の人に負けない自信があります（笑）。
 ☆公平先生 一生懸命取り組む人とそうでない人の差がなくなりましたね。「全員でやるぞ」という雰囲気が出てきていることが強みです。

●公平先生が放送部の生徒さんを指導する際に、工夫されていることは何ですか？
 ☆公平先生 日ごろの個人練習は先輩が後輩をしつかり見てくれています。大会前には、個性を残しつつも変な癖はそぎ落とすことを中心に、アクセント、抑揚、声の高低、文の切り方などについて、徹底的な個人指導をしています。
 ☆亀井 公平先生のアドバイスが実在的的確で、すごいです。
 ●全国大会への抱負や今の心境を教えてください。
 ☆木皿 去年までは緊張して読んでいたのですが、今は楽しくやっています。最後の大会では後悔のないように楽しくやりたいです。
 ☆石川 まだまだな部分で、今後の大会では後悔のないように楽しくやりたいです。



放送部メンバーの集まり

女子テニス同好会が「女子テニス部」になりました。

平成二十四年度卒、泉高校三十八回生の米山千秋です。在学中私が所属していた「女子テニス同好会」が今年、部に昇格したと聞き、七月三日、母校を訪ねて顧問の金野先生と三年生の現役部員（相澤侑奈さん、大塚理紗さん、柳下美聡さん、今野美希さん）に近況をインタビューしてきました。

●米山 部への昇格おめでとうございます！お気持ちはいかがですか？
 ☆金野先生 ありがとうございます。私や小野寺コーチを含め、みな喜んでいきます。

●私を含め、たくさんテニス部OGも喜んでいてと思います。部員の皆さんは？
 ☆侑奈 他の部活に劣らないくらい真面目に練習をして、毎年たくさん大会にも出場し、近年はよい成績も残せる実力をつけてきています。その努力が認められてうれしいです。

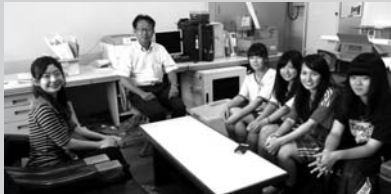
●最後に、部になつてこれからどのような活動にしていきたいですか？
 ☆理紗 私達が入部した当初から先輩方は部昇格を目指していました。私達もその思いを受け継いで活動してきたので、その思いを成し遂げられてうれしいです。

●部にするにあたっては、たくさん努力と苦労があったと思いますか？
 ☆美聡 まず同好会という

☆美聡 まず同好会という

だけで部より下に見られることです。部費や活動場所など様々な面で自力で活動していかなくてはならず、負担が大きいところがありました。
 ☆美希 主な活動場所が校外のコートだったため、周りの皆さんには活動の様子が見えません。ですから、外部コートが使えない日は学校で必ずトレーニングを行い、皆さんに活動を知ってもらい、なおかつ自分達の技術向上を目指しました。
 ☆金野先生 主な活動場所が仙台市のコートというところで、コートの確保は不可能でしたので、仙台市内や黒川郡内の高校の協力を得て、週末の練習試合を数多く企画しました。現在では、団体戦のシールド校とも練習試合ができるレベルになりました。部への昇格に際しては、生徒会執行部の皆さんに活動状況を理解して頂き、多くの面で支援を得ることができました。本当に感謝しています。

い、後輩にはよい環境でテニスを楽しんでほしいです。
 ☆金野先生 今まで同様に限られた条件の中でベストを尽くすチームであつて欲しいと思います。女子テニス部に入部する人はテニス初心者がほとんどです。基礎から丁寧に指導して、部員全員が楽しく上達できるように目指しています。これからも泉高校テニス部の良さを継承しながら、今後は部員の練習環境を改善する方向で努力したいと考えています。これまで協力していただいた皆さんに感謝しつつ、今後入部してくる部員のためにも、少しでも良いチームを作れるよう努力したいと思っています。
 ●最後に、部になつてこれからどのような活動にしていきたいですか？
 ☆侑奈 部になつた今も私は校内に自分達のコートを持つていません。外部コートではどうしても使用日時が限られ、移動時間のため練習量も減ります。ぜひ学校内にコートを作ってもら



女子テニス部メンバーの集まり

（米山千秋）

泉高の進路指導の現在 進路指導部

過去3カ年の主な大学の現役合格者数(延べ人数)

国公立大学	2014	2013	2012	市立大学	2014	2013	2012
北見工大		1		仙台大	4	1	3
北教大岩見沢校	1			東北学院大	145	171	181
岩手大	5	7	7	東北工大	26	18	4
東北大	1	6	4	東北生活文化大	1		
宮城教育大	5	8	5	東北福祉大	62	53	53
秋田大	3		3	東北薬大	2	10	6
山形大	14	22	15	宮城学院女子大	65	41	61
福島大	6	5	17	仙台白百合女大	26	8	8
茨城大	3	2	1	東北文化学園大	1	2	1
宇都宮大	3	4	1	尚絅学院大	10	5	7
横浜国立大			1	東北芸術工大	1	6	3
新潟大	1	1	2	獨協大	3		3
静岡大			2	文教大	2		1
岩手県立大	1	1	2	芝浦工大	9	2	
宮城大	13	14	13	成城大	1	4	1
秋田県立大		1	1	専修大		2	4
秋田公立大	1	1		中央大	1	1	5
国際教養大		1		東京農大	4		13
山形保健医療大		2	1	東京理大	2	1	
群馬県立女子大			1	東洋大	4	3	2
主都大東京	2			日本大	5	7	1
横浜市立大	1	3	1	法政大	2	3	4
新潟県立大			2	武蔵野美大	1		
金沢美術工芸大		1		明治大	2	10	3
都留文科大	1		1	明治学院大	1	1	1
広島市立大		1		神奈川大	4	5	7
その他		1	11	その他	17	42	41
国公立大学計	61	82	91	私立大学計	405	409	417

	2014	2013	2012
専門・各種学校進学者	23	23	17
公務員就職者数	3	3	
民間企業就職者数	2	1	3

泉高校の高校入試での高倍率は近年だけの特徴ではありません。公立での初の共学普通高校として草創期からそれ相当の倍率があり、それが脈脈と続いてきたようです。高倍率の入試を突破し入学してきた泉高生の卒業後の進路は、高校生人口の減少や新しい大学の設置などで変化しています。今から20年前の「進路の手引き」を見ると、泉高校生の「上級学校へという進路志向」そのものに大きな違いはありません。しかし、現在では、過去に圧倒的に多かった私立大進学者が減少し、国立大進学者が増加傾向にあります。ここ数年間の卒業生数に対する国公立大合格者の割合は、平均約30%となっており国公立大学志向が強まっています。泉高校ではこの点を十分に踏まえて進路指導を行っています。学力の把握と進路意識の啓発、学力の伸長・進路目標の実現をテーマに、進路志望に応じた早期からの学習指導、学力向上を図るための授業作り、生徒の実態に応じたきめ細やかな学習指導と課外講習の展開の3つを柱として、教員の自己研鑽の機会をも作りながら進めています。泉高校の進路状況に対して、最近では、本校を目指す中学生、保護者のみならず中学生対象の塾協会の先生方からも注目されているところです。卒業生の方々のお力添えもいただきながら、さらなる躍進を目指しています。

泉三校定期戦は今年七優勝、4連覇です。連覇継続中

軟式野球部 県大会堂々の準優勝!

硬式野球

① 硬式野球 (全国高等学校野球選手権・宮城大会)
1回戦 泉1-2伊具
2回戦 泉4-0石巻商業
3回戦 泉0-2東北
準決勝 泉0-2東北
準決勝 泉0-2東北

卓球女子

2回戦 山田泉2-3佐藤(石巻西)
3回戦 泉3-1小田田農林
準々決勝 泉0-3聖和学園
個人 佐藤悠(泉)3-0千葉(志津川)
1回戦 工藤(泉)3-2熊谷(石巻)
2回戦 佐藤悠(泉)0-3神山(聖和学園)
3回戦 豊嶋(泉)3-0矢島(古川)
4回戦 豊嶋(泉)3-0平山(塩釜)
4回戦 豊嶋(泉)1-3青沼(利府)

ソフトボール

1回戦 泉0-9常磐木学園
決勝 泉2-17仙台商業(県大会準優勝)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

男子個人

1回戦 田村泉0-3大野(名取高専)

女子個人

1回戦 田村泉0-3

平成26年度 泉高校泉陽会総会 資料

2014年8月9日 ホテル白萩

1 平成25年度行事報告

平成25年4月 8日 入学式
 7月 6日 役員会
 8月10日 総会(ホテル白萩)、泉陽会会報第29号発行
 平成26年2月28日 同窓会入会式
 3月 1日 卒業式

2 平成25年度 同窓会収支決算書

【一般会計】

収支対照

(単位:円)

収入	支出	残額	摘 要
1,041,563	818,056	223,507	次年度へ繰越

収 入

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			比 増	較 減	
会 費	1,011,600	1,005,300		6,300	1,200円×838人 転入者600円×1名 転出者△300円×1名 △600円×1名
繰越金	36,189	36,189		0	前年度からの繰越金
雑収入	111	74		37	利息
計	1,047,900	1,041,563		6,337	

支 出

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			比 増	較 減	
運営費	285,900	173,106		112,794	
(会議費)	170,000	117,280		52,720	総会補助, 役員会茶菓子代
(事務費)	40,900	19,200		21,700	広告料
(渉外費)	25,000	2,026		22,974	電報代
(通信費)	10,000	5,200		4,800	案内用切手代
(印刷費)	40,000	29,400		10,600	会報印刷代
学校行事補助費	230,000	214,950		15,050	
(卒業祝い)	230,000	214,950		15,050	卒業証書ホルダー代
生徒会補助費	100,000	30,000		70,000	遠征費補助(放送部 書道部)
積立準備金	400,000	400,000		0	50周年記念事業等積立金
予備費	32,000	0		32,000	
計	1,047,900	818,056		229,844	

【積立金会計】

既積立額	既積立利息	25年度積立額	計	
6,933,241	1,392	400,000	7,334,633	1年自動継続定期預金

収支帳簿並びに関係書類を監査の結果、いずれも正確に処理されていることをご報告いたします。

平成26年7月 5日

監事 金森 従雄 印
 監事 諸橋 辰也 印
 監事 阿部 浩二 印

3 平成26年度行事予定(案)

平成26年4月8日 入学式
 7月5日 役員会
 8月9日 総会(ホテル白萩)、泉陽会会報第30号発行
 平成27年2月28日 同窓会入会式
 3月1日 卒業式

4 平成26年度 同窓会会計予算書

【一般会計】

収 入

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,005,600	1,011,600		6,000	1,200円×838名
繰越金	223,507	36,189	187,318		前年度から繰越
雑収入	93	111		18	利息
計	1,229,200	1,047,900	181,300		

支 出

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		摘 要
			増	減	
運営費	267,200	285,900		18,700	
(会議費)	150,000	170,000		20,000	総会、役員会
(事務費)	42,200	40,900	1,300		総会広告料
(渉外費)	25,000	25,000		0	慶弔費
(通信費)	10,000	10,000		0	切手、はがき代
(印刷費)	40,000	40,000		0	会報
学校行事補助費	230,000	230,000		0	
(卒業祝い)	230,000	230,000		0	卒業記念品
生徒会補助費	100,000	100,000		0	遠征費補助(全国大会)
積立準備金	600,000	400,000	200,000		50周年記念事業等積立金
予備費	32,000	32,000		0	
計	1,229,200	1,047,900	181,300		

【積立金会計】

項 目	既積立額	今年度積立金	今年度積立額
50周年記念事業積立金	7,334,633	600,000	7,934,633

5 平成25・26年度役員紹介 ※()は卒業回

[会 長]	桂 島 晃 (1)			
[副会長]	千 葉 仁 (1)	菅 沢 勇 (1)		
[幹 事]	吉 田 恵幸 (7)	大久保博信 (16)		
[監 事]	金 森 従雄 (3)	諸 橋 辰也 (7)	阿 部 浩二 (15)	
[会 計]	庄 司 幸男 (1)	黒 沢 政弘 (2)	齋 藤 明宏 (事務室長)	
[参 与]	板 垣 徳昭 (校長)	佐 藤 善則 (教頭)	志 貴 一元 (教頭)	

◎次年度(平成27年度)総会及び懇親会のご案内

[日 時] 平成27年度8月8日(土) ※毎年8月の第2土曜日です。
 [会 場] ホテル白萩 ※毎年同じです。
 [世話役] 9・19・29・39回生(それぞれ昭和59年卒、平成6年卒、16年卒、26年卒)
 ※予定です。詳しくは来年7月にご案内致します。